

名が協力し、高齢者の方々とひと時を過ごしました。選択講座①は体力測定6種目(握力(1)、長座体前屈、上体起こし、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行(2))です。種目の確認や、測定方法などを体育科の生徒が説明しながら各種目の測定に励んでいただきました。お孫さんのような生徒を相手にいろいろな話をしていただき、生徒たちも高齢の方々にパワーをもらったのではないかと思います。選択講座②は、有馬温泉「奥の細道」大田忠道館主と有馬温泉「角の坊」の渡辺祐馬料理長に来ていただき、滝野ナス翡翠麺の制作にご協力いただきました。高齢者の方々は最初の講義もよく聞いておられ、実習に入っても手際よく作業されている様子が印象的でした(3,4)。こういった交流の機会を大事にしていきたいと思います。



6月22日には、生活科学科3年生が「ふれすこ」での三草茶そば販売、トマトソースのかき氷販売に協力(5,6)、2年生は、子ども食堂での調理と子供たちとの交流に出かける(7,8)など大活躍。「ふれすこ」での販売では茶そばの販売をしながらトマトを練りこんだ麺の制作にも着手。配合する割合を考えながら試作を繰り返すなど、協力をいただきながら頑張っていました。かき氷販売も順調に売れ行きを伸ばしていたようで、レモンをかけるとトマトソースが引き立ち、おいしいかき氷になっていました。子ども食堂では、22名の子供たちと兵庫教育大学学生分、そして主催者の皆さんの分を15時くらいから仕込みをかけ、調理担当の方々と一緒にトマトとナスの丼と、みそ汁を作り提供していました。子どもたちはとても喜んで食べていました。こういった活動を毎月実施。生活科学科は地域の活動を積極的に行っています。させていただける、経験させていただけることに感謝して今後でもできる範囲で地域貢献を果たしていければと思います。お疲れさまでした。



6月23日は水泳の県総体を見てきました。写真を撮るにはピンクのビブスが必要(9)ということで、各校に配布されたものをお借りして、レースを見ました。時間の都合で男子4×200mリレーしか見ることはできませんでしたが、本校の選手たちの力泳をみることができました。驚いたのは、レースが淡々と進むことです。予選ではレース前の紹介がなく、前のレースが終わり、選手がすべてプールから上がると笛が4回鳴り、次の組の第1泳者が準備。長い笛の合図でスタート台に立ち、スターターの合図でスタートを切るというのが続いています。レース中は、アナウンサーが順位と記録の発表を併せてしています。応援団もスタートの合図と同時に応援を開始。あまりの流れの速さに驚いてしまいました。引継ぎがうまくいかず、本校は失格となったようですが、3日間お疲れさまでした。写真の撮影に関しては、各種目でいろんな制約があります。陸上でも、写真や映像許可の出ている区域は、スタンド上段の方で監視員が見守っていますし、水泳はどういった基準になっているかわからなかったので、顧問の辺見先生に教えていただき、このような情報をお伝えすることができたという次第



です。

また同日 JRC 部は滝野で行われた第 36 回兵庫県ろうあ者大会に手話のお手伝いで参加。しっかりと仕事をしてきたということでした。

地域イベントにはこのような形での参加依頼や家庭クラブの販売等の依頼が多くあり、生徒たちは貴重な経験をさせていただけるので嬉しい限りですが、先生方にも引率してもらわねばならず、クラス数の減少とともに職員数の減少はこういったところに影響が出てきそうです。今まで通りの活動ができ、生徒の支援が図れるようにしていきたいものです。



そして6月もいよいよ最終週となりました。早いもので4月に着任して3か月が過ぎようとしています。総体関係では運動部の応援に行くことができ、充実した休日を過ごすことができました。その間、部活動への考え方や思いなど世間で言われているブラックな部活動は本校には当てはまらないことがよくわかりました。先生方の勤務に関して言えば、かなりの面でご協力いただき、当たり前のように部活動の引率等の業務をしていただいています。「一人一人の生徒を活かす、伸ばす」ことを掲げ、そのことに全力で当たっていただいています。お休みの方も十分にとっていただくようにしなければ、生徒活動を支援できません。保護者の皆様や地域の方々にもご理解をいただき、先生方が生徒活動の支援に全力で取り組んでいけるようにしていきたいと思えます。

今日から考査1週間前。生徒の皆さんは1学期のまとめをしっかりとできるように頑張ってください。